

# 1人1台端末の活用による実践事例

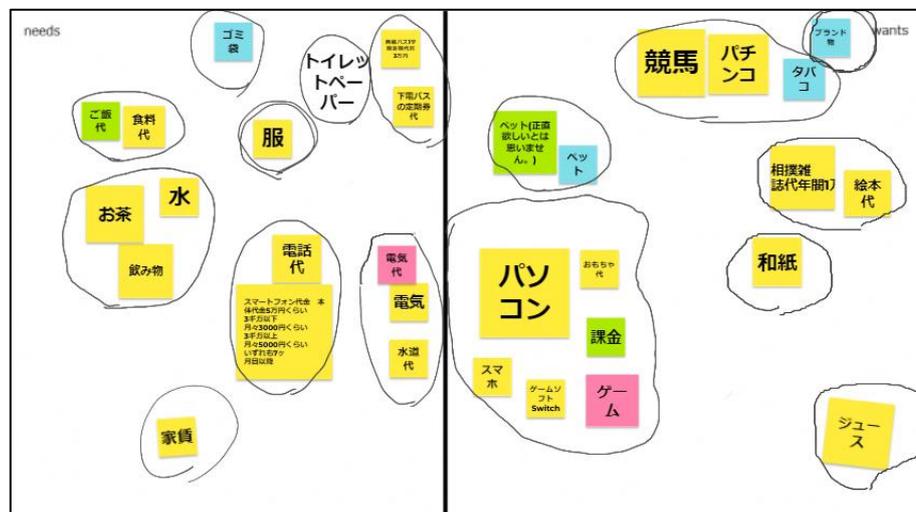
(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山南支援学校	実践者名	木野達也
実践場面 (教科、領域、行事等)	課題学習 (社会・家庭)		
単元・題材名	高校生のための金融リテラシー講座 (家計管理)		
学習目標・ねらい	家計における支出にはどのようなものがあるかを、自身の生活と結びつけながら考えることができる。		
対象の児童 生徒の実態	高等部2年生・知的障害		

活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する

使用アプリ名 : Jam board

- (1) 家計の支出にはどのようなものがあるかを、ワークシートに書き上げる。
- (2) 付箋に、「needs (必要なもの)」または「wants (ほしいもの)」に分けて貼る。
- (3) 付箋 (他の生徒のものも OK) を移動して、同じ意見や近い意見をまとめる。



- (4) 完成した Jamboard を元に、教師がまとめをする。

## 活用のポイント・改善策等

- ・多くの意見を出させたいときに取り入れている。今回の事例の他に、「働くために必要な力」など。
- ・他の意見を否定しないことを約束したうえで、全員で1つのファイルを編集するようにしている。他の生徒の意見を見て、自分が思いついていなかったことに新たに気づいたり、そこから着想を得て別の意見を入力したりすることができた。
- ・固定しておきたいもの (needs、wants、中央の境界線) は、背景画像として取り込んでおき、生徒が移動や編集をできないようにしている。